

**最**近は燃料としてだけでなく、消臭剤や食材としても使われることが増えた炭。私たちは、通常はある程度の太さを持った木の枝などを蒸し焼きにして作られる炭を、捨てられてしまう資源から作っています。私たちが開発した釜は、炭に適した太い木の枝はもちろん、樹皮や草、加工した木の端切れ、とうもろこしの芯など、普段は利用されない植物性の素材(植物性バイオマス)でも炭にすることができるのが強みです。出来上がった粉炭は、燃料のほかにもさまざまな用途に活用できます。

当社は海外から積極的に研修員を受け入れており、私たちの技術を知ったラオスのエネルギー鉱山省職員の要請をきっかけに、同国でのバイオマス粉炭普及事業が始まりました。ラオスでは燃料として主にまきや炭が使われており、伐採による森林の

from  
ラオス

炭の力で土地を豊かに

減少が深刻な問題です。また、国を挙げて水力発電に力を入れており、ダム建設に伴って多くの木々が伐採されます。そこで、これらの木材から粉炭を作り、酸性土壌の改良に使うことで、農業の生産性を高めて周辺住民の生計向上が図れるのではと期待しています。



粉炭の作り方を学ぶ研修員たち

**私**は以前、青年海外協力隊としてブルキナファソの住民参加型森林管理プロジェクトを見てきました。もともと環境保全に興味を持っていたのですが、協力隊として現地に出会った女性たちを支援するためにア・ダンセを立ち上げました。

from  
ブルキナ  
ファソ

現地の女性とシアバターを作る

最近、化粧品やハンドクリームの素材として見掛けることが増えたシアバターですが、アフリカでは食用として、また万能薬としても使われてきた歴史があります。当社では、ブルキナファソの森林管理住民グループから直接買い付けたシアバターや、HIV/エイズに感染していたり、感染した家族を失ったりした女性たちが作るシアバター石けんを日本で販売しています。買い上げ利益の一部は住民グループやそれをまとめるユニオンの収入となり、日本の援助が終わった後の運営に使われています。

放火や水不足などの課題もありますが、女性たちの収入は村落部の家庭の安定に強く結び付いています。これからも現地の女性たちと協力して、質の高いシアバター製品を販売していくつもりです。



現地の女性たちから直接シアバターを買い取っている

# 世界の森林を支える 企業の力

環境保全は企業にとっても重要なテーマの一つ。環境に配慮した生産方法や、森林再生につながる技術を生かして、多くの日本企業が、海外で事業を展開している。

**私**たちは、生産国の直営農園で苗木を育てることから、調達、製造、流通、販売に至るまで、一貫したコーヒー事業を展開しています。おいしいコーヒーには豊かな自然環境が不可欠だという考えから、環境保護活動にも積極的に取り組んでいて、その一つが、JICAと連携してエチオピアのベレテ・ゲラ地域の森を守るプロジェクトです。

エチオピアでは、収入を得るために森林が伐採され、環境破壊が懸念されていました。そこで、経済活動と環境保護を両立させる存在として目を付けたのが、森林の中で自生しているコーヒーです。高付加価値製品として売り出すために、まずは、持続可能な生産方法の証である「レインフォレスト・アライアンス」認証を取得。その後、現地の生産者に、熟度に応じて実を分別する作

from  
エチオピア

質の高い森林コーヒーを

業や、品質管理の技術を教えるなど、品質の改善に取り組みました。その結果、エチオピア産スペシャルティコーヒーが完成し、住民の生計やモチベーションの向上につながっています。現地の人たちが、森林伐採による収益に頼らずに生活できるように、今後も活動を続けていきたいです。



日本人専門家と現地の普及員で、適切なコーヒー栽培が行われているかを調査した (撮影: 渋谷敦志)

**私**たちが開発した「多機能フィルター」は、特殊な繊維構造により、シートを地面に敷くだけで雨水による侵食を防ぐことができます。さらに、土壌の保水機能が向上することで植物の育成が促進され、防災と環境保全の両面での効果があります。

from  
インドネシア

独自の技術で緑化事業に貢献

インドネシアのバトゥール火山の周辺は、過去の噴火による土壌の荒廃が進んでいたため、シートを活用した緑化事業に取り組んでいます。工夫している点は、日本の製品をそのまま使うのではなく、現地の素材を用いたシートを開発すること。その土地の生態系に適した自然環境を回復させるとともに、現地の人たちの手で持続していける仕組みを確立することが狙いです。

文化の違いなどから、交渉が思うように進まないといった苦労もありましたが、結論が出るまでしっかりと意思を伝えることを心掛けました。そして、実際に火山の周辺で試験を実施した結果、植物が順調に成長することが確認されました。今後は、現地の政府機関と連携し、シートの販売体制の確立と販路拡大を目指します。



試験開始から1年3カ月後。シートを敷いた場所からは植物が順調に生育している